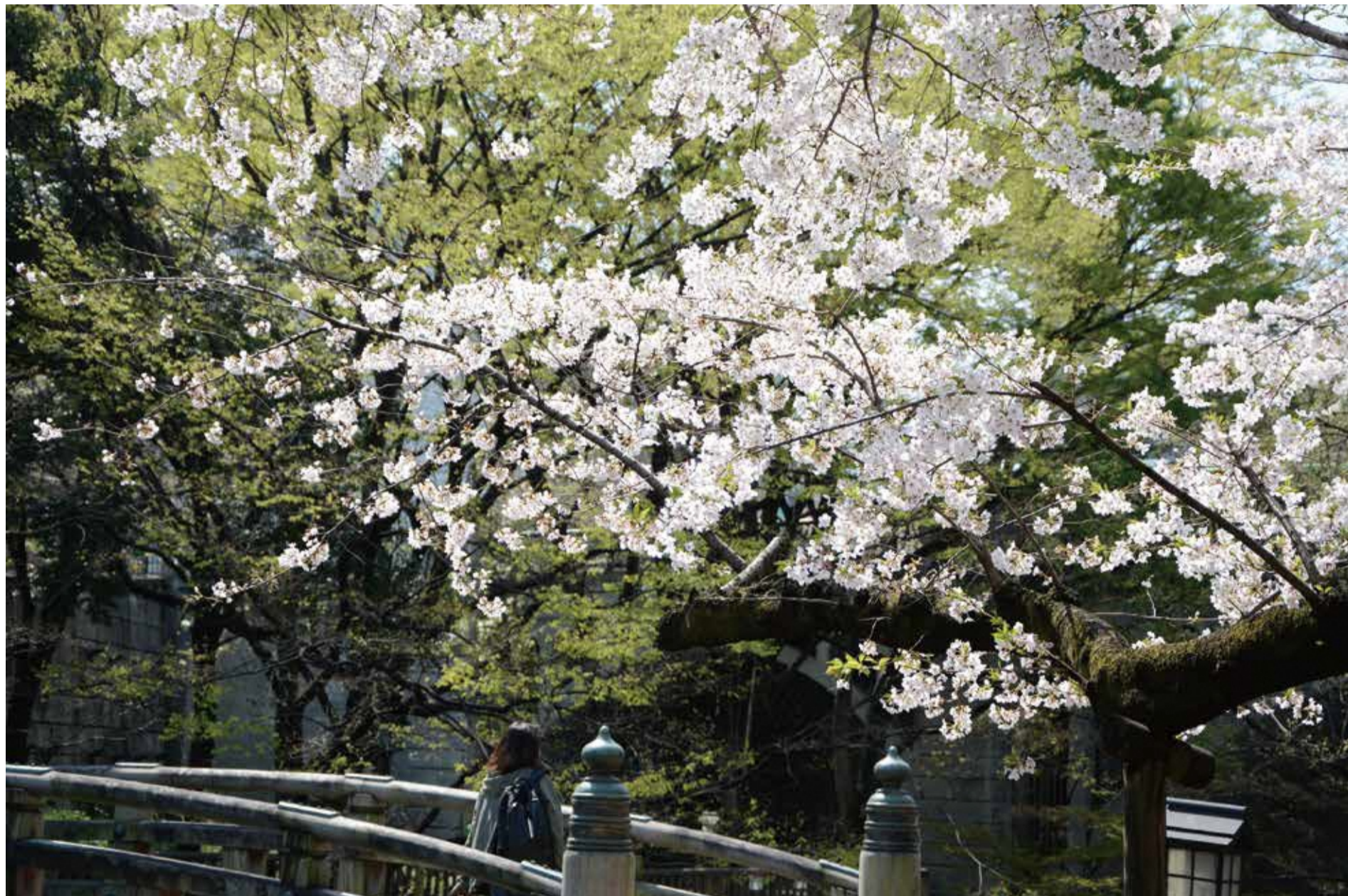


# きた くぎかいだより

No. 296  
発行/北区議会  
〒114-8508  
東京都北区王子本町1丁目15番22号  
TEL 03(3908)9948



「音無親水公園」

## 第1回臨時会(2月5日)

令和5年度東京都北区一般会計補正予算(第6号)を可決し、同日閉会しました

## 第1回定例会

○令和6年度予算を可決しました

議員提出議案

○東京都北区議会委員会条例の一部を改正する条例ほか1件を可決しました

令和6年第1回臨時会は、2月5日に招集され、区長から提出された議案3件を議決しました。

令和6年第1回定例会は、2月26日に招集され、31日間の会期で3月27日に閉会しました。

2月26日、27日の2日間にわたり、17名の議員が財政・福祉・教育・都市問題など当面する区政の課題について代表・個人質問を行いました。

今回、区長から提出された議案等33件、議員から提出された議案等3件、請願・陳情2件を議決しました。

### 296号 目次

代表質問	2・3
個人質問	4・5
結果の出た請願・陳情	5
議決した議案等	6
可決した意見書要旨	6
令和6年度予算に対する態度	7
議会の動き	8
次回定例会案内	8

### 各会派の代表質問

#### 東京都と連携し北区新時代実現へ 安心安全なまちづくりを求める



自由民主党  
議員団  
戸枝 大幸



**問** 「北区新時代」実現の為、東京都との連携の重要性が増している。今後、区民の生活や暮らしを守り、行政サービスの向上に向けた事業展開と、東京都との連携の考え方を問う。

**答** 広域的取組を促す都の施策に連動し、住民に最も身近な基礎自治体として地域の実情を見極め、区民ニーズを的確に把握し、新たな施策や事業を展開しながら、都の事業構築に向けて提案をしていく必要があると考えている。

**問** 赤羽・十条・東十条・王子の各駅周辺のまちづくりが本格化しており、駅舎の改修も想定されている。特に赤羽は公共施設の再配置も

絡む検討がなされている。区の見解を問う。

**答** 駅周辺のまちづくりは選ばれるまちの核となる事業と認識している。区民の想いを反映させていく為の実行力を高め、100年先を見据えたまちづくりを実現していく決意である。

**問** 田端から尾久へのJR操車場の広大な敷地があり、今後期待される東京23区で残された最後の大規模開発プロジェクト用地である。この地域の活用について、国や東京都を含め、大きな視点でまちづくりを検討すべき。

**答** 現在、尾久車両センターは操車場として使用され利用転換の計画はないが、駅周辺の土

#### 新時代の扉を開く積極的予算を 7つの主要政策を更に大きく展開



公明党議員団  
宮島 修



**問** 昨年視察した北見市では、わかりやすい窓口への改革として課名表示をやめ、ライフイベントに沿った表示としていた。区でも同様に目的別案内表示を取り入れてはどうか。

**答** 庁舎が細分化されており同一庁舎での手続完結が困難といった課題があるが、北見市の取組も参考にわかりやすい窓口表示に努める。

**問** 都が運営するVLPは日本語指導が必要な子どもや不登校の子ども居場所・学び場としての仮想空間であり、現在8区市が参加している。学校へ行けない不登校の子どもへの対応として北区も参加し、活用できないか。

#### 命と暮らしを守る区政に 北区独自の給付金の支給を



日本共産党  
北区議員団  
せい の 恵子



**問** 物価高騰から区民の暮らしと中小業者の営業を守る為、財政調整基金を更に活用し、納税者の半分程度を対象とする給付金や中小業者に対する給付金を区独自に支給を求める。

**答** 現段階において財政調整基金を活用した独自の給付金等の支給は考えていない。

**問** 避難所運営の際は運営に必ず女性を加え、相談体制を整えよ。また、女性、授乳やおむつ替え、介護の必要な人などのプライバシーを確保したスペースの確保や男女別で距離を離れたトイレの設置を行うことを求める。

**答** 現在改定中の地域防災計画において避難所

における多様性への配慮を記載しており、次年度より着手する避難所運営マニュアル改定ではより詳細な検討、整理を予定している。

**問** 産後ケアの高台地区での増設や利用時間等の拡充を求める。都産師会北地区分会等の協力を得てアウトリーチ型の産後ケアを提供できる事業創設と助成制度を求める。

**答** 拡充にあたり事業者に働きかけている。孤立を感じやすい妊産婦には状況に応じた支援が必要であり、引続きアウトリーチ型を含めた産後ケア事業の拡充策を調査検討する。

**問** 品川区では各家庭の補助教材等の費用負担

#### ウェルビーイングを求めて 平和・防災・出産子育て・働き方



立憲クラブ  
うすい 愛子



**問** ウェルビーイングの概念を自治体政策に活用する事でサービスの質と効率性を高められると考える。区民意識調査においてもウェルビーイングの視点は必要と考えるが、見解は。

**答** ウェルビーイングに関連する施策を含め各施策の重要度・満足度の相関関係を明らかにしつつ施策立案や事業構築をしており、一部は実施しているが今後更に研究を深めていく。

**問** 災害従事に関わる者による性加害があった場合には介入や指導が必要で対応を実践的に進める為にもマニュアル化が必要である。また、性に基づく暴力を許さない社会規範の形

成が災害時の性暴力対策に不可欠だが見解は。

**答** マニュアル化については使いやすい形になるように検討する。性別に関わる暴力への対応としては、引続き重大な人権侵害である事を広く区民に認識していただく為に取り組む。

**問** 多胎児支援では妊娠中からのアセスメントとして家庭内の様子を見る事の重要性を示しているが、新生児訪問では妊娠時から子育て環境をヒアリングで十分に把握できているか。

**答** 面談を機に妊産婦等の状況を確認し要支援の対象として可能な限り担当保健師が妊婦等の理解度等に合わせた働きかけを行っている。

#### 周囲の力を活かす仕組みづくりを 政治と公民連携のあるべき姿



日本維新の会  
北区議員団  
安達 しんじ



**問** 区長は大阪・関西万博の万博首長連合に所属しているが、万博の機運醸成のために区独自の取組や意気込みを問う。

**答** 現時点において、区独自の具体的な施策は行っていないが、引続き、都や特別区長会と足並みを揃えながら取組を進めていく。

**問** 昨今の様々な政治家の不祥事等を踏まえ、政治家が身を引き締めて信頼回復に努める必要がある。政治不信に対する区長の所見は。

**答** ご紹介の事案については、政治に対する有権者の信頼回復に向けて、しっかりと説明責任を果たすことが重要と認識している。

**問** 公民連携の推進のために、区は大阪府の公民戦略連携デスクを視察し、アプローチを模倣する価値があると考えているが、区の見解は。

**答** 大阪府の公民戦略連携デスクは、庁内、各部署と民間との※ハブとなり、民間の強みを活かす有効な仕組みと認識しており、公民連携のあり方等の検討を進めていく際の参考とする。

**問** 不登校対策に関して、オンライン教育における民間教育機関との連携や、区独自で不登校特別校を設置する計画はあるか。

**答** 不登校対応プランを取りまとめ順次取組んでおり、次年度はバーチャル・ラーニング・プ

地利用動向については状況把握に努めている。

**問** 地域公共交通基本条例を踏まえ、区内各駅へのラストワンマイルを繋げるコミュニティバスやデマンド交通の対象地域拡大を求める。

**答** 地域の特性やニーズに応じて、区の更なる魅力向上につながる交通手段を検討し、より適切な地域公共交通を導入する為、北区地域公共交通計画の見直しを進めていく。

**問** 子どもの権利と幸せに関する条例制定に合わせ、子どもが幸せな状態で生活を送ることができる社会の実現という理念を踏まえ、既存のいじめ防止条例についても整合性を図り、

見直しをかけるべきであるが、区の見解は。

**答** SNSの普及等、いじめの態様にも変化が見られる事等を踏まえ、時宜を捉えて条例の見直しも検討する必要があると考えている。

**問** 能登半島地震を踏まえ、速やかに取り組める事業として、避難所環境整備、避難所周辺の公園等への防災設備の優先整備対応を求める。

**答** 避難所周辺の公園等でも不足する防災設備の必要性を検証し、設置に向けた検討を行う。

**問** 衛星通信「スターリンク」の配備を、災害対応の拠点となる全ての施設へ速やかに設置し、蓄電池の配備も同様に順次実施すべき。

内最大事業者である区が率先して省エネや環境配慮行動に取組むと共に、森林環境譲与税を活用し、カーボンオフセットに着手する。

**問** 災害時に罹災証明書を迅速に交付する為、日田市を例に現地調査で使うタブレット及びそれと連動する後方支援システムの早期導入、また、被害認定の迅速化に向けた現地調査委託の為の不動産管理会社等との協定を求める。

**答** より迅速かつ効率的な発行の為、クラウド型システムへ昨年移行したが、タブレットを活用したシステムとの連携については導入に向けた課題等を整理する。東京都行政書士会

が大きいことから、令和6年度学用品に係る費用を公費負担するとした。北区でも区立学校の学用品全額無償化に踏み出すべき。

**答** 学校で使用する補助教材は学校ごとに種類や金額等が異なる。北区教育ビジョン2024(案)において教材費等の管理業務に係る教員の負担軽減の取組を検討する計画としており、その中で教材費の実態についても研究していく。

**問** コロナ禍を経て医療・介護・障がい福祉分野で働くケアワーカーの重要性が再認識される一方で人材不足が課題となっている。慰労金支給の実績を生かし同等の支援を行うべき。

北支部と協定締結予定だが、より多くの民間団体等と協体制を構築できるよう努める。

**問** 北区には多くの観光資源や地域の魅力があり、地域特色を生かしたエリアマネジメントを策定し、地域魅力発信を早期に推進すべき。

**答** 令和6年度に多彩なまちづくりが展開されるようエリアデザイン導入ガイドラインをまとめる予定であり地域魅力発信に努めていく。

**問** 年齢、性別、障がいの有無を問わずチャレンジできるeスポーツは時代にも合っており、北とびあの大規模改修時にドームホールを大会が開催できる環境に整えてはどうか。

**答** 区独自の支援は考えていないが、国や都に人材確保に向けた処遇改善を要望していく。

**問** 出前授業「心と体を守るための性教育」がモデル実施される。小学校等でも助産師等の協力を得て保護者も対象の出前授業を求める。

**答** 小学校での実施や保護者も対象の出前授業については今後の研究課題とする。

**問** 現在空き地の中十条や王子等の都営アパートの跡地を、王子本町周辺の福祉のまちづくりに貢献できる土地として活用できるよう国と相談することを要望する。

**答** 道路整備との関係も踏まえながら福祉に限

される。リトルベビーハンドブックについては今後の研究課題とする。

**問** ※ベリネイタル・ロス経験者が情報にアクセスできる環境づくりが必要であり、他自治体のような情報提供が重要だが、見解は。

**答** ※グリーフケア等の情報は区ホームページに流産・死産の方に向けた情報をまとめて掲載する等アクセスしやすい工夫を検討する。

**問** 性別を問わずワクチンを接種する事で、自身とパートナーへのHPV感染を防ぐ事が出来る。男性接種についての区の接種方針等は。

**答** 小学校6年生から高校1年生相当の男子の

ラットフォームを実施予定である。不登校特別校はプランの検討項目の一つであり、(仮称)北区不登校対応連絡調整会議において課題等を整理し、民間企業等との連携を検討する。

**問** 外部人材として登用したDX推進アドバイザーが着手したこと及び今後の取組を問う。

**答** まず、研修を実施し、職員の意識改革に着手した。また、今後は各部署でのDX相談支援から業務改善につながった成果を全庁に展開していくと共に、デジタルツールの新たな活用、デジタル人材の育成等に取組む。

**問** 導入される防災ポータルや防災アプリには、

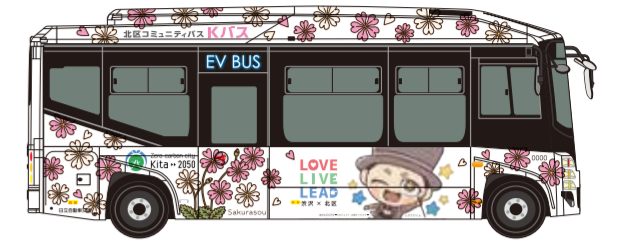
避難所の混雑状況の可視化等、重要性が指摘される発災後のサービスの導入計画はあるか。

**答** 現在準備中の防災ポータル、防災アプリは、避難所の混雑状況の発信を行う予定である。

**問** 災害時における公民連携をより一層進めるため、区の方針について問う。また、酒田市等の友好都市間との防災連携について、具体的な体制や計画の整備状況は。

**答** 協定の相手先との間で協定事項の見直しや訓練の参加等を通じて、協定の具体性を高め実効性を確保すると共に、新たな協定先の開拓に取組む。友好・交流都市や国、都等と災害

**答** 23区初の導入成果や課題を踏まえ、優先度の高い災害対応の拠点への配備を検討する。



コミュニティバス新規路線が運行開始(車両はフルEVバス)

**答** ドームホールにおいては、eスポーツを含め多目的な用途で利用できるよう検討する。



仮想空間を活用した児童・生徒支援「VLP」

定することなく区全体の行政需要を含め、幅広い視点で検討のうえ要望していく。



産後ケア事業の様子

全額費用助成を令和6年度の早期に行う為、都の助成方針決定後に接種体制を整えていく。



ベビーロスの国際的啓発、ピンク&ブルーリボン

時に緊密な連携を図れるよう、引続き具体性・実効性を備えた協定の締結に取組む。



友好都市である山形県酒田市の日和山公園

・代表質問は、交渉団体会派(所属議員3名以上)の議員が行います。  
・名前の横にあるQRコードを読み取ることで、質問の様子を映像で閲覧することができます。

※VLP/VLP(Rバーチャル・ラーニング・プラットフォーム)とは、3Dメタバース空間により構築されたバーチャル空間で、PCやタブレットなどGIGA端末を通してアバターを操作し、コミュニケーションをとることができるもの。  
※ハブ/中心となるところ。中核。拠点。

※ベリネイタル・ロス/流産、死産、人工死産、新生児死亡、人工妊娠中絶等、お産をとりまく赤ちゃんの喪失のこと。  
※グリーフケア/死別をはじめとする「喪失」を体験した人の悲しみや痛みを寄り添い、立ち直り、自立できるようケアやサポートをすること。

# 個人質問



**能登半島地震を踏まえて  
子どもの学力向上について**  
自由民主党議員団  
金田 よしあき



- 問** 福祉避難所の開設を告知した場合、避難者が殺到する可能性もあり、受け入れる為のスクリーニングの判断基準を設定し施設へ周知する必要があると考えるが、区の見解は。
- 答** 受け入れの判断基準としてスクリーニングチェック票を作成している。より実効性のあるチェック票作成と各施設への周知に努める。
- 問** 子どもの英語の「聞く」「話す」機会を増やし能力を高める方法として、ICT技術やタブレット端末を活用すべきと考えるが見解は。
- 答** 外国語の授業では\*ALTと連携しながら、1人1台端末「きたコン」を活用している。ICTの特徴を生かし更なる活用促進に努める。
- 問** 来年2月で満100周年を迎える滝野川第五小学校の改築に向け、改築ステーション使用でのバス通学や学童保育等も含めて、児童に極力負担にならない方策の検討を求める。
- 答** 今後、具体的な改築の実施方法を検討していく。学校、保護者、地域等への丁寧な説明と意見交換を行い改築の実施方法を決定する。
- 問** デマンド交通が令和6年度より実証実験を開始予定だが、実験運行を開始してから運用上の課題を随時反映させることは可能か。
- 答** 実証実験期間中に利用状況調査の結果を踏まえて適切な対応を検討していく。



**エリアマネジメントの先は  
十条跨線橋と十条小学校課題**  
自由民主党議員団  
渡辺 かつひろ



- 問** 十条跨線橋架替工事の間の中十条・岸町・東十条地域の賑わい創出について、エリアマネジメントの視点での見解は。また、十条小学校改築における高低差解消策は、地域全体の課題解決の手法として大切であるが、見解は。
- 答** まちづくりガイドラインの策定後、東十条駅周辺の賑わい創出や地域発展への取組を地域の方々等と協力して進める。高低差解消については、区全体での視点等を踏まえ、多角的な検討が必要であり、今後の研究課題とする。
- 問** 今後約30年間の全区有施設の一定金額以上の改修・改築・耐震補強等の保全計画に、人口推移を加味した全体計画を作成し、管理する必要に迫られていると考えるが、見解は。
- 答** 北区公共施設等総合管理計画において人口推移等を踏まえ公共施設マネジメントの考え方を定め各施設の整備を進めている。計画改定では区民ニーズ等の変化も踏まえ基金等の活用も考慮し全体計画を示せるよう取組む。
- 問** 教科書選定では区独自の教科書比較研究作業が大切で偏った絞り込みを行わない事が標準化した採択に必要なだが、課題認識と見解は。
- 答** 綿密な調査研究を行い、公平性に疑念を抱かれることのないように厳正かつ公平・公正な審査を行っている。



**寄り添い伴走型の支援を  
田端地域の諸課題について**  
公明党議員団  
くまき 貞一



- 問** ひきこもり支援について、当事者目線を大

事に寄添いのできるワンストップ相談体制の構築を要望するが、今後の展開を含め見解は。

- 答** 令和5年度に相談体制の充実を図り好評を得ているが、ひきこもり支援プラットフォームでのより効果的な相談体制を検討する。
- 問** 災害時におけるペット同行避難のイメージ共有の為、訓練を実施すべき。また、ペット同行避難には区民の理解が不可欠だが、見解は。
- 答** ペット同行避難については区民の理解が不可欠であり、まずは理解促進に努めながら、併せてペットの同行訓練についても検討する。
- 問** 田端駅周辺エレベーターの設置については工事が遅れている旨の報告を昨年受けたが、現在の状況や今後の見通しは。
- 答** 設置工事の入札を終え、契約議案を今回の定例会に提出予定である。工事期間は18か月で、令和7年9月末の完成を見込んでいる。
- 問** 童橋横断歩道の道は多くの車両が通行し、狭い坂道で通学路でもあることから地域の方から安全対策への要望もあるが、区の見解は。
- 答** 減速マークの新設等を行うと共に、転落防止パネルの部分的な透明パネルへの交換等、運転手の視認性向上を図ってきた。引続き警察と連携し必要な安全対策に取組んでいく。



**住宅施策の拡充を  
住宅に困っている女性支援を**  
日本共産党北区議員団  
永井 朋子



- 問** 女性支援新法の実施に合わせ、住宅確保に困る女性にセーフティネット住宅活用を視野に入れた住宅相談やあっせんの実施を求める。
- 答** 区で設置する女性支援調整会議での意見を踏まえ、居住支援協議会等と連携を図りながら引続き支援の在り方について検討する。
- 問** 区営住宅はセーフティネット住宅の役割がある。エレベーターのない区営住宅には積極的に設置を促進しバリアフリー化を求める。
- 答** エレベーターが未設置の区営住宅は北区公営住宅のストック活用及び長寿命化計画に沿って集約化する計画としており新たな設置は考えていないが、事情により個別に対応する。
- 問** コミュニティバス浮間地域ルート運行計画の住民説明会で意見が出されているバス停増設等、住民要望の実現を求める。
- 答** 運行計画はダイヤ調整等を踏まえて作成しており試験運行でのバス停増設は考えていないが、引続き利用者要望を把握し実証運行へ移行する際の見直し等の検討に生かしていく。
- 問** 北区地域公共交通計画では7路線を順次計画化する方針であるが、赤羽西地域におけるコミュニティバス導入計画の考え方は。
- 答** 既存路線バスとの競合回避等の課題があり、課題解決に向けた会議体を設置し検討する。



**権利を守り、支援の拡充を！  
給食・防災・居場所・虐待**  
立憲クラブ  
青木のぶえ



- 問** 給食を食べる時間が10分のみとなっている学校もあると聞くが、給食を楽しんでおいしく食べる適切な喫食時間の確保を求める。
- 答** 喫食時間が十分に確保されていない場合は速やかに改善する必要がある。校園長会で情報共有したうえで、必要な助言・指導を行う。
- 問** 区では教職員の防災ヘルメットを配置する

とのことだが、生徒用には配置されておらず、中学校に生徒用も配置すべき。

- 答** 中学校生徒用の防災ヘルメット配備については、令和6年度に予定している学校防災マニュアルの改定に合わせ検討する。
- 問** 女性支援新法施行に伴う区の基本計画策定においては、アウトリーチ相談支援体制を含めた民間との対等な協働、連携を要望する。
- 答** 計画策定に向け、女性支援の様々な知見を有する方々の意見を参考に、民間支援団体との連携等も視野に入れた取組を検討していく。具体的な支援内容等は先事例等を調査する。
- 問** DV被害者が決死の決断で子どもと家を出たにも関わらず連れ去り等と責められる様な二次被害の予防の為に相談支援継続を求める。
- 答** 二次被害を防ぐ為、状況や事情に応じた適切な支援を実施しているが、引続き関係機関と連携しながら被害者支援を実施していく。



**動物愛護No.1の北区へ！  
ペットも家族や社会の一員**  
日本維新の会北区議員団  
さいとう 尚哉



- 問** 高まる動物愛護の重要性から専任職員配置は妥当な人材戦略と考える。動物愛護を一層推進する為、関連分野等で経験ある職員を専任職員として配置するよう提言する。
- 答** 専門職の確保等には課題もあり、専任職員の配置については、業務内容の整理等を進めながら将来的な確保を検討していく。
- 問** 東京都獣医師会北支部等と協働し、ペットを同行した避難所開設訓練等を実施すべきと考えるが、見解は。
- 答** 避難所開設訓練ではペット飼育スペース設営等の訓練を行っている。同行訓練検討の際には東京都獣医師会北支部と連携していく。
- 問** 避難所におけるペットの飼育場所は原則屋内、例外は屋外であることを「東京都北区避難所運営マニュアル」で明示するよう提言する。
- 答** 避難所の状況が異なる為、屋内・屋外での飼育は明確にしていない。避難所運営マニュアル改定時に他自治体事例等を参考に整理する。
- 問** 北区で多文化共生のまちづくりを推進する為、「食」をテーマにしたイベントを積極的に支援する制度の構築を提言するが、見解は。
- 答** 区主催の食を通じたイベントのほか、都の助成金を活用し、町会等が実施する料理イベント等地域における交流イベントを支援する。



**災害弱者を取り残さない防災  
学用品の無償化について**  
日本維新の会北区議員団  
佐藤 こと



- 問** 福祉避難所を更に増やす為、まだ指定されていない高齢者施設や通所型施設への働きかけを検討すべきと考えるが、区の見解を問う。
- 答** 更なる指定の検討が必要と認識している。区内施設運営法人等に対し既存の周知方法に加えSNSの活用や説明会の開催等検討する。
- 問** 民間の取組みである「\*届け.jp」と協議し、支援物資配送のハブとして社会福祉協議会やNPOを指定する等連携をしておくべき。
- 答** 民間団体のノウハウを活かした個別的な需要に対応した物資提供は能登半島地震の事例等踏まえ、社会福祉協議会等と協議していく。
- 問** 地震や水害の際の災害ボランティア受付に

## 個人質問

ついて、LINEアカウントでボランティアの事前登録ができる仕組みを北区でも取り入れられないか。区の見解を問う。

ⓐ 受付にSNSを活用し、防災ポータルサイトや防災アプリと連携する事はボランティアセンターの円滑な運用に資する為、今後、運営に関わる4者の関係機関と協議する。

ⓑ 厳しい事務事業評価により財源を生み出し、学用品無償化は実現可能と考えるが、見解は。

ⓐ 補助教材は学校毎に種類等異なる為、北区教育ビジョン2024(案)で教員の業務負担軽減を検討する中で教材費の実態も研究する。



**働く人を大切にす  
る北政を  
雇用の改善が経済成長を促す**  
無会派(新社会党所属)  
福田 光一



ⓑ 会計年度任用制度の一番大きな課題は不安定な雇用と考える。恣意的な運用を防ぐ為、経験を重視した採用等、公募自体の見直しを求める。勤務・経験年数による加算、パワハラ等防止の為、職員指導や研修の充実を求める。

ⓐ 公募の募集・採用には、平等取扱いの原則を踏まえている。職務内容、必要な経験等を考慮し報酬水準を定める為、経験年数に応じた加算は行わない。職員の服務規定でハラスメント禁止を謳い、厳正かつ公正に対処するほか、全職員を対象にeラーニング等を行っている。

ⓑ 不安定な雇用で低賃金労働者を増やし、区内で働いた経験が区内で生かされにくい構造を持つ、指定管理者制度等の外部委託の抜本的な見直しを求めるが、区の見解は。

ⓐ 指定管理者選定時に継続雇用等の要請を行っており、処遇施設等では非公募選定により継続的に経験を生かす仕組みを整えている。引続き計画的に民間活力の活用を検討する。

ⓑ 土地基本法の「土地利用は公共の福祉を優先する」という理念に則った「まちづくり条例」制定の為、検討と研究を求めるが、見解は。

ⓐ 近隣紛争の未然防止の為、迅速かつ適正な調整に努めている。引続き区民と開発事業者等が相互に理解を深められるよう取組む。



**区民に寄り添う対応を  
プレコンセプションケア**  
無会派(都民ファーストの会所属)  
山中 りえ子



ⓑ 区民に対しては、相手を尊重し、相手の立場を考え、相手の気持ちに寄り添う「おもてなしの心」を常に意識し、寄り添った対応を求める。

ⓐ 職員の接遇は、思いやりの心を目に見える形で好感度高く表現し、より良い人間関係を築くことが大切と考える。引続き、研修等を通じおもてなしの心を常に意識した対応を行う。

ⓑ 3年前から提案していたプレコンセプションケアが新規事業として予算化されたことに期待しているが、どのような事業になるのか。

ⓐ 思春期から39歳までを対象に、妊娠適齢期や不妊症、性と生殖に関すること等の講座を開催すると共に、希望者に妊よう性検査の費用の一部を助成する。

ⓑ 予算編成において、将来的にマイナスシーリングを行うことを考えているか。

ⓐ 今後、歳入状況に厳しさが見込まれる場合等には、マイナスシーリングのもと予算編成に臨むこともあると考える。

ⓑ グリーンインフラは防災・減災に結び付くものである。世田谷区の雨庭づくり等の取組は、北区にとって参考になるのではないか。

ⓐ 緑化推進に努めているが、引続き、グリーンインフラの多様な価値を活用した地域づくりを進める。世田谷区の事例は参考としていく。



**障害児と保護者へのサポート  
就労を続けられる支援拡充を**  
無会派(無所属)  
加藤 みき



ⓑ 発達障害や知的障害の早期発見・療育を目的として5歳児健診の実施を求める。

ⓐ 国は、令和5年度補正予算で5歳児健康診査支援事業を始めており、現在、区は諸課題の整理等を行っている。引続き調査・研究を進めると共に、実施に向けた環境整備をしていく。

ⓑ 障害がある子どもが各機関を利用する際の手書きのヒアリングシートは、煩雑かつ情報の引継ぎ等が困難であるため、利用者情報管理の標準化とデジタル化を求める。

ⓐ 区業務全体のDX推進の検討を進める中で、どのような仕組みを構築したらよいか、今後研究していく。

ⓑ 特別支援学級への登下校等には、保護者の送迎が必要であるため、移動支援サービスの利用とスクールバスの運用を求める。

ⓐ 特別支援学級への通学等に移動支援を利用することは可能。なお、登下校のサポートとして、スクールバスの運用は考えていない。

ⓑ 障害児が学童クラブで安心して過ごせるように、また、学童クラブまでの移動が困難であるため、マンツーマンでの対応を求める。

ⓐ 学童クラブが、障害のある児童にとっても安心安全な居場所となるよう、他自治体における取組を参考に、引続き検討していく。



**北区のみんなが幸せになる  
愛のある福祉サービスを!**  
無会派(れいわ新選組所属)  
佐藤 つかさ



ⓑ ケアマネジャーの人員数を確保する為には、

若い世代に職に就きたい、資格を取りたいと思ってもらう必要がある。研修費用の負担が大きい為北区でも研修費等助成制度を求める。

ⓐ 現時点では区独自の助成事業の実施は考えていない。今後示される都の事業の詳細について事業者団体への周知や活用促進に努める。

ⓑ 災害時に職員が事業所に駆け付ける事ができ、職員の処遇改善、職場定着の目的もある、介護職員借上げ住宅制度を北区でも求める。

ⓐ 実施区は増えていないと認識しているが、引続き他区の取組促進に向けた動き、補助事業の都の動向の把握等、調査・研究する。

ⓑ 北区の要介護者等への紙おむつ支給要件では常時失禁状態の高齢者をカバーしきれない為、自己負担を導入する等支給対象者拡大を。

ⓐ 区では令和6年度助成限度額を1,000円増額することとした。引続き自己負担も含め、他区の動向等を注視していく。

ⓑ 北区では、在宅の要介護4・5認定者は高齢者福祉マッサージ券が支給されるが、もっと多くの高齢者が利用できるサービスの充実を。

ⓐ 区の要介護4・5認定者の6割以上である在宅生活の方にサービスを実施しており、現時点で対象者等の拡大は考えていない。



**災害に強い街が経済効果に  
北区に新しいイノベーション**  
無会派(国民民主党所属)  
濱田 知明



ⓑ 細街路拡幅整備の区内全体における進捗状況及び令和5年度の整備状況を問う。

ⓐ 全長の約20%、約121kmの整備を実施しており、令和5年度は約3km整備した。

ⓑ しぶさわくんFMが地域に密着したラジオ局として根付く為には、様々な人気コンテンツの制作を続けることが重要と考える。これまでの反響と今後の課題等について、見解は。

ⓐ 開局以後コンテンツ数も増加し大変注目している。区の魅力を掘り下げて紹介し、シビックプライドの醸成に繋がるメディア展開も必要と考え、メディアミックス戦略の一つとして地域コミュニティFM等の活用も検討する。

ⓑ 大学卒業後に大きな負担となる奨学金が社会問題化されているが、返済に困っている若者への支援について問う。

ⓐ 国の貸与型奨学金の減額返還制度の見直しの動向を注視すると共に、進学支援の更なる拡充について全国市長会を通じて国に求める。

ⓑ 地域活性化の為に区独自地域通貨及び先進的なポイントシステムを進める考えはあるか。

ⓐ 地域通貨導入に向けた検討を加速させ、都の動向を注視しつつ、区の特性を踏まえたデジタル地域通貨の制度設計について北区商店街連合会や産業関係団体等と協議を進める。

## 結果の出た請願・陳情

番号	件名	結果
請願6第1号	重要土地等調査法に関する問題を指摘する意見書提出等に関する件	不採択
陳情5第21号	(仮称) 東京北医療センター新棟建設に伴う樹木伐採等の中止に関する件	不採択

不採択の理由は、いずれも願意に沿い難いため



## 議決した議案等

### 会派名等と議員数

自：自由民主党議員団(11) 公：公明党議員団(10) 共：日本共産党北区議員団(7) 立：立憲クラブ(4) 維：日本維新の会北区議員団(3)  
 無(社)：無会派(新社会党所属)(1) 無(都)：無会派(都民ファーストの会所属)(1) 無(無)：無会派(無所属)(1)  
 無(れ)：無会派(れいわ新選組所属)(1) 無(国)：無会派(国民民主党所属)(1)

#### 第1回臨時会

議案名	概要	自	公	共	立	維	無(社)	無(都)	無(無)	無(れ)	無(国)	議決結果
区長提出議案												
東京都北区手数料条例の一部を改正する条例	戸籍法の一部改正に伴い、本籍地以外の市町村長に対する戸籍証明書等の交付の手数料の新設等を行うほか、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部改正に伴う規定の整備を行う	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(仮称)北区立都の北学園新築工事請負契約の一部を変更する契約	契約金額の変更：61億7,266万1,000円	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度東京都北区一般会計補正予算(第6号)	歳入歳出予算：6億2,972万2,000円の増 繰越明許費：1件	○※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

#### 第1回定例会

議案名	概要	自	公	共	立	維	無(社)	無(都)	無(無)	無(れ)	無(国)	議決結果
区長提出議案等												
東京都北区デジタル推進条例	区政のデジタル化を推進することにより、区民等の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を実現する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区子どもの権利と幸せに関する条例	子どもの権利を保障し、子どもの幸せの実現に向けた取組を推進する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う規定の整備を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区職員定数条例の一部を改正する条例	職員の定数を改定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	東京都北区特別職報酬等審議会の答申に基づき、区議会議員の議員報酬の額の改定及び期末手当の支給月数の引上げを行う	○	○	×	○	▲	×	○	×	×	○	可決
東京都北区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	東京都北区特別職報酬等審議会の答申に基づき、区長、副区長及び教育長の給料の額の改定及び期末手当の支給月数の引上げを行う	○	○	×	○	▲	○	○	×	○	○	可決
東京都北区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	東京都北区特別職報酬等審議会の答申に基づき、常勤監査委員の給料の額の改定及び期末手当の支給月数の引上げを行う	○	○	×	○	▲	○	○	×	○	○	可決
東京都北区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	学校医等の公務災害補償の補償基礎額の改定を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区定住化基金条例を廃止する条例	東京都北区定住化基金を廃止する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区住宅管理基金条例の一部を改正する条例	東京都北区営住宅及び東京都北区高齢者住宅の建設に要する資金に住宅管理基金を充当できるようにする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立図書館設置条例の一部を改正する条例	東京都北区ジェイトエル設置に伴い、東京都北区立上十条図書館を廃止する	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
東京都北区立区民センターの設置及び管理の基本に関する条例の一部を改正する条例	東京都北区立上十条図書館の廃止等に伴う規定の整備を行う	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
東京都北区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正を踏まえ、施設の重要事項について、電気通信回線に接続して行う自動公衆送信により公衆の閲覧に供することを義務づける	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区子ども家庭支援センター条例の一部を改正する条例	組織改正に伴う規定の整備を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	東京都後期高齢者医療広域連合の経費の支弁の方法に関し、規約の一部を変更する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別養護老人ホーム清水坂あじさい荘大規模改修排水衛生設備工事請負契約	契約相手：アネス・三笠建設共同企業体 契約金額：5億8,748万8,000円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道路線の認定について	特別区道路線の認定をする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立中里保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人聖華	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和5年度東京都北区一般会計補正予算(第7号)	歳入歳出予算：10億5,349万5,000円の減 繰越明許費：10件 債務負担行為：1件の変更 特別区債：1件の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度東京都北区国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算：27億2,262万4,000円の減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度東京都北区介護保険会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算：1億5,026万8,000円の減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度東京都北区後期高齢者医療会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算：1億5,571万7,000円の減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度東京都北区一般会計予算	歳入歳出予算：1,813億6,700万円 債務負担行為：35件 特別区債：5件	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	可決
令和6年度東京都北区国民健康保険事業会計予算	歳入歳出予算：375億3,828万4,000円 債務負担行為：1件	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	可決
令和6年度東京都北区介護保険会計予算	歳入歳出予算：331億3,587万円	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	可決
令和6年度東京都北区後期高齢者医療会計予算	歳入歳出予算：103億2,741万8,000円	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	可決
東京都北区特別区税条例の一部を改正する条例	令和6年能登半島地震災害に係る雑損控除額等の特例に係る規定を設けるほか、規定の整備を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区国民健康保険条例の一部を改正する条例	国民健康保険の保険料率の改定等を行う	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
東京都北区介護保険条例の一部を改正する条例	介護保険料率の改定を行うほか、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した第1号被保険者等に係る保険料の減免の特例を廃止等する	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
田端駅前昇降機棟増築工事請負契約	契約相手：小暮工業株式会社 契約金額：3億7,037万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
うめのき幼稚園増築工事請負契約	契約相手：青葉建設株式会社 契約金額：2億9,260万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
旧神谷小学校校舎等解体工事請負契約	契約相手：定山・栄伸建設共同企業体 契約金額：4億3,532万5,000円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都北区監査委員選任の同意について	西村泰信氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案等												
東京都北区議会委員会条例の一部を改正する条例	東京都北区組織条例の一部改正に伴う規定の整備を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書	意見書の内容については、下記の「可決した意見書要旨」をご覧ください	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
「第26号議案 令和6年度東京都北区一般会計予算」の組み替えを求める動議	異常円安、物価高騰が続く中、区民の暮らしと区内事業者の営業を支援する緊急対策を講じるため、財政調整基金34億3,000万円を活用した予算の組み替えを求める	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	否決

議長は表決に加わりません。

○：賛成 ×：反対 ▲：退場 ※1名欠席

#### 選挙管理委員及び同補充員の選挙を行いました。

3月27日の本会議において、東京都北区選挙管理委員及び同補充員の選挙を行いました。当選者は右記の通りです。

・選挙管理委員 名取 秀明、大島 実、八巻 直人、大畑 修  
 ・同補充員 椿 邦司、坂本 友明、佐藤 有恒、秋元 正雄(敬称略)

## 可決した意見書要旨

### ○若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書

政府に対し、薬物依存による健康被害から一人でも多くの若者を守るために、下記の事項について特段の取り組みを求める。

#### 記

1、現在、濫用等の恐れがある医薬品の6成分を含む市販薬を販売する際、購入者が子ども(高校生・中学生等)である場合は、その氏名や年齢、使用状況等を確認することになっているが、その際、副作用などの説明を必須とすること。

- 若者への薬剤の販売において、その含有成分に応じて販売する容量を適切に制限すると同時に、対面かオンライン通話での販売を義務づけ、副作用などの説明と合わせて、必要に応じて適切な相談窓口等を紹介できる体制を整えること。
- 濫用の恐れがある薬の指定を的確に進めると同時に、身分証による本人確認のほか、繰り返しの購入による過剰摂取を防止するために、販売記録等が確認できる環境の整備を検討すること。
- 若者のオーバードーズには、社会的孤立や生きづらさが背景にあるため、オーバードーズを孤独・孤立の問題として位置づけ、若者の居場所づくり等の施策を推進すること。

## 令和6年度予算を可決しました

令和6年第1回定例会において、令和6年度予算を審査する特別委員会を設置しました。7日間にわたり審査を行い、最終日に各会派等が予算に対する態度を表明しました。ここでは、その要旨をお伝えします。

## 自由民主党議員団

### 一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも賛成

政府の経済見通しでは、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されている。一方で海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっているほか、能登半島地震等の経済に与える影響に十分留意する必要があるが、令和6年度予算では、こうした情勢を鑑み、区を更に前に進める為の積極的予算としている。また、令和5年度に公民連携を担うしごと連携担当室や区長室を設置し、6年度の組織体制にあたっては、児童相談所の開設を見据えながら、時代の変化に対応する為、子ども未来部の区長部局への移行をはじめ、教育委員会との連携等部局の枠を超えて仕組みづくりに注力している。

予算編成にあたっては、北区子ども条例の制定、行財政改革及び区民サービス向上の為のDX推進、新たな公民連携の仕組みづくり、北区強靱化による安心・安全の防災減災対策、100年先を見据えたまちづくり、地域公共交通の充実、在宅療養支援体制の整備による区内医療環境の強化、区内産業の活性化、ゼロカーボンシティに向けたカーボンオフセットの取組、切れ目ない子育て支援、学校改築、教科担任制の導入、部活動の地域連携の推進、不登校対策等質の高い教育環境整備や児童相談所等複合施設開設準備等、我が会派からの要望が色濃く反映されたことを高く評価する。

ポストコロナの新たな社会環境の中で、区が基礎自治体として果たすべき役割を適切に果たし着実に前進する為には、必要な財源を積極的に確保することが必要不可欠である。

## 公明党議員団

### 一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも賛成

区では堅調な歳入を見込むが、社会保障費増大等が予想され、将来の人口減少や少子高齢化の進展等を踏まえ公共施設の整備・更新需要も見据えた基金残高確保が不可欠である。

令和6年度予算では、能登半島地震を受け防災関連予算を前年度より約30%増額し北区強靱化に向け取組むとし、税収増分は区民サービス向上に資する新規事業の構築やレベルアップに積極的に振り向け、限られた資源を様々な施策に効果的かつ効率的に配分し、北区新時代の扉を開く為の積極的予算となっている。更には基金や特別区債の学校改築、特養の大規模改修、児童相談所等複合施設整備等への適切な活用は財政の持続性確保につながるものと評価する。特に我が会派が求めてきた、書かない窓口や遺族サポートデスクの新設、不登校児童生徒の為の校外別室事業、

子どものインフルエンザ予防接種費用助成、保育園のICT化、産後ドゥーラ養成の助成、区独自給付型奨学金制度の検討、高齢者補聴器購入費の助成、障がい者移動支援の利用時間拡充、自殺対策の強化、地域猫不妊去勢手術助成金の拡充、ドッグランの整備、区内共通商品券のデジタル化、デマンド型交通実証実験開始等に取り組むとしており高く評価する。

最後に、以下の点について一層の取組を求める。防災対策の推進、災害時に電源となるEVの庁有車への導入、カーボンオフセット推進、高齢者見守りの抜本的な強化拡充、若年癌患者支援と妊孕性助成事業の実施、ひきこもり専用窓口設置、電子図書館の導入。

## 日本共産党北区議員団

### 一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも反対

新年度予算案において、子どもの権利と幸せに関する条例制定や児童相談所等複合施設の整備、高齢者補聴器購入費用の助成、木造民間住宅耐震化助成の拡充、コミュニティバス新規路線及びデマンド交通実証実験、平和都市宣言記念事業等は、住民要望の反映として評価する。しかし、以下の理由から一般会計予算に反対する。第1の理由は、コロナ禍や異常円安、物価高騰が続く中、過去最高額に並ぶ198億円余の財政調整基金を積み上げながら非正規雇用や中堅所得層、中小業者等への直接支援が不十分にとどまったこと。第2の理由は、DXを基軸にした行財政改革を位置づけ、区民の利便性の向上を図るとしながら、職員削減や外部化、非正規化等、人件費のコストカット、不安定雇用や格差拡大に繋がる経営改革路線を更に深化させようとしていること。第3の理由は、超高層タワーマンションを誘致する駅前再開発や稼ぐ区役所を標榜し、公民連携の名のもとに大企業やディベロッパーをはじめとする民間事業者への利益最優先のまちづくりを進めていること。また、3特別会計予算は物価高騰にも関わらず保険料が上がり、トリプル値上げとなったことから反対する。

## 立憲クラブ

### 一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも賛成

子どもを社会全体で育てていく意識を高め、子どもたちの命と未来を社会全体で見守り支える姿勢を評価する。なお、以下要望する。子どもアドボカシーの為の具体的な取組。平和に向けた事業への積極的な予算配分。第7次アゼリアプラン策定の際、ジェンダー視点で全庁的に取り組める内容とすること。ウェルビーイングに基づく区民意識・意向調査を毎年実施すること。まちづくりに関し、共創会議等で会議体の女性人数がパリティとなるようにすること。生存権レベルの問題のエアコン購入費用等の助成。学用品の購入の無償化等、保護者の負担軽減。産後ケア事業者の実態把握と利用者の利便性向上に努めること。



## 日本維新の会北区議員団

### 一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも賛成

区の未来を見据えた積極的な施策展開として、新年度予算案は能登半島地震を受けての防災対策強化、DXの推進、まちづくりへの投資による都市としての魅力向上を図る姿勢を評価する。一方で、事務事業評価が十分でなくデータに基づく聖域なき事業のスクラップアンドビルドが実施できていないこと、大阪市等と比べ教育無償化への予算措置が十分でないこと、選ばれる北区になるため競合自治体と比較し競争優位性を獲得すること等、課題を指摘せざるを得ない。しかし、区長就任後からの区政のスピード感は過去にないものである。令和6年度を通じて、各事業が適切に執行されているか注視していく。

## 無会派(都民ファーストの会所属)

### 一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも賛成

令和6年度一般会計予算は新庁舎整備基金への積替え分を差引くと実質的に過去最高である事を評価し、以下要望する。真に区民に寄り添った対応。子ども版ウェブサイト作成。プレコンセプションケア推進。終活支援センター設置。王子駅前公園への喫煙施設整備の再検討または北区たばこ対策基本方針見直し。二十歳のつどい事業企画への新成人の参加等。

## 無会派(無所属)

### 一般会計予算及び3特別会計予算にいずれも賛成

DX等を盛り込んだスピード感、子どもの権利と幸せに関する条例の制定等を評価し、以下要望する。シティブランディング等の効果を分析する体制づくり。治安問題を解決する一助として街のごみ等への積極的介入。食物アレルギーがある子どもへの適切かつ精神的にも寄り添った対応等。不登校児童・生徒への多様な学び場の提供と予防的対策の推進。



## 予算特別委員会委員 (定数20人)

◎近藤 光則		○松沢よしはる	
赤江 なつ	石川さえだ	うすい愛子	
宇都宮ゆり	加藤 みき	くまき貞一	
さいとう尚哉	坂口 勝也	坂場まさたけ	
佐藤かずゆき	佐藤 こと	せいの恵子	
永沼かつゆき	野口 将人	平田 りさ	
ふるたしのぶ	山崎たい子	山中りえ子	
◎委員長		○副委員長	

## 議会の動き

### 12月

- 18日 議会情報PR委員会  
・きたくぎかいだより295号について

### 1月

- 29日 議会運営委員会  
・第1回臨時会の日程について

### 2月

- 1日 地域開発特別委員会  
【視察】  
・十条駅西口地区第一種市街地再開発事業の進捗について  
【委員会】  
・視察のまとめ

- 2日 防災対策特別委員会  
・東京都北区地域防災計画（素案）のパブリックコメント実施結果について

- 5日 議会運営委員会  
・本会議の運営について  
全員協議会  
・議案の説明及び質疑  
本会議  
・議案の議決ほか  
区民生活委員会（本会議休憩中）  
・所管事務調査  
東京都北区手数料条例の一部を改正する条例

- 健康福祉委員会（本会議休憩中）  
・所管事務調査  
令和5年度東京都北区一般会計補正予算（第6号）

- 建設委員会（本会議休憩中）  
・所管事務調査  
東京都北区手数料条例の一部を改正する条例

- 企画総務委員会（本会議休憩中）  
・議案審査  
東京都北区手数料条例の一部を改正する条例ほか  
・令和6年北区区政功労者表彰について

- 議会運営委員会（本会議休憩中）  
・本会議の運営について

- 14日 議会運営委員会  
・東京都北区議会委員会条例の一部改正についてほか

- 16日 全員協議会  
・議案の説明及び質疑

- 26日 本会議  
・代表質問ほか

- 27日 本会議  
・個人質問、議案の付託ほか

- 29日 区民生活委員会  
・請願・陳情審査  
（仮称）東京北医療センター新棟建設に伴う樹木伐採等の中止に関する陳情（第1項、第2項）ほか  
・所管事務調査  
東京都北区立区民センターの設置及び管理の基本に関する条例の一部を改正する条例ほか

### 3月

- 1日 健康福祉委員会  
・所管事務調査  
令和5年度東京都北区一般会計補正予算（第7号）ほか

- 建設委員会  
・議案審査  
特別区道路線の認定について  
・所管事務調査  
東京都北区定住化基金条例を廃止する条例ほか

- 4日 企画総務委員会  
・請願・陳情審査  
重要土地等調査法に関する問題を指摘する意見書提出等に関する請願ほか  
・議案審査  
東京都北区デジタル推進条例ほか  
・ブロックプラン  
赤羽台西小学校（ブロックプラン）について

- 5日 議会運営委員会  
・議案審査  
東京都北区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例  
・本会議の運営について

- 本会議  
・議案の議決  
議会運営委員会（本会議終了後）  
・追加予定議案の取り扱い及び全員協議会の開会について

- 6日 予算特別委員会  
・総括質疑、議会費

- 7日 予算特別委員会  
・総務費、公債費、諸支出金、予備費

- 11日 予算特別委員会  
・福祉費、衛生費

- 12日 予算特別委員会  
・環境費、産業経済費、土木費

- 13日 都市ブランド推進特別委員会

- 14日 予算特別委員会  
・教育費

- 21日 予算特別委員会  
・一般会計歳入、各特別会計歳入歳出

- 22日 予算特別委員会  
・補足質疑、討論、採決  
議会運営委員会  
・予算組み替え動議の取り扱いについて

- 26日 議会運営委員会  
・本会議の運営についてほか

- 文教子ども委員会  
・請願・陳情審査  
（仮称）東京北医療センター新棟建設に伴う樹木伐採等の中止に関する陳情（第3項）  
・議案審査  
東京都北区立中里保育園の指定管理者の指定について  
・所管事務調査  
東京都北区子どもの権利と幸せに関する条例ほか

- 27日 全員協議会  
・追加議案の説明及び質疑  
本会議  
・議案の議決ほか  
区民生活委員会（本会議休憩中）  
・所管事務調査  
東京都北区特別区税条例の一部を改正する条例ほか  
健康福祉委員会（本会議休憩中）  
・所管事務調査  
東京都北区介護保険条例の一部を改正する条例  
企画総務委員会（本会議休憩中）  
・議案審査  
東京都北区特別区税条例の一部を改正する条例ほか  
議会運営委員会（本会議休憩中）  
・本会議の運営について  
議会運営委員会（本会議終了後）  
・第2回臨時会及び第2回定例会の日程についてほか

## 次回定例会のお知らせ

令和6年第2回定例会は、6月7日（金）から6月19日（水）までの13日間の会期の予定で開かれます。いずれの会議も午前10時開会予定です。

6月10日（月）の本会議は都合により開会されない場合があります。開会の有無については、区議会事務局までお問い合わせください。

6月	7日（金）	本会議
	10日（月）	本会議
	12日（水）	区民生活委員会 文教委員会
	13日（木）	健康福祉委員会 建設委員会
	14日（金）	企画総務委員会
	18日（火）	議会運営委員会
	19日（水）	本会議

※6月3日（月）までに提出された請願・陳情は、原則として第2回定例会で審査します。

○議会放映をJ:COM東京北（ケーブルテレビ）でぜひご覧ください

第2回定例会本会議の代表質問の様子をJ:COMチャンネルで録画放映します。

放映予定日時  
6月16日（日）  
午後4時30分から【5時間程度】  
6月17日（月）～21日（金）  
午後8時から【1時間程度】（再放送）

きたくぎかいだより No.296

編集：議会情報 PR 委員会  
発行：東京都北区議会

〒114-8508 北区王子本町 1-15-22  
☎：03(3908)9948  
FAX：03(3908)0600

区議会の活動は、北区のホームページでもご覧になれます。

北区議会